

# 飯田市長

## 地域人教育で特別講義

2024年(令和6年) 5月1日 水曜日

南信州新聞

OIDE 長姫高

### 地域への愛着を持つて 「地域人教育」で市長講義

飯田OIDE長姫  
高校商業科3年生の  
「地域人教育」で4  
月26日、飯田市の佐  
藤健市長が特別講義  
した。商業科3年生  
76人が本年度、地域  
への理解を深め、市  
内で各地区やテーマ  
別に活動を展開す  
る。



地域人教育で実施した佐藤市長の特別講義

地域人教育は同校  
と市、松本大学の3  
者のパートナーシッ  
プ協定により行う教  
育プログラム。地域  
理解を深め、地域で  
の生き方を考え、郷  
土愛を育むことを通  
じ、地域を担う人材  
を育成する。

市長の特別講義は  
毎年の年度始めの時  
期に実施しており、  
飯田市の地域づくり

の強みや将来像、現  
在の課題などについ  
て学ぶ機会としてい  
る。

佐藤市長は、市の  
課題や将来像だけで  
なく、自身の高校・  
大学生活の体験から  
も助言。「自分が大学

生の時、地元の良い  
を友だちに伝えられ  
なかった。その時、  
初めて故郷のことを  
あまりにも知らない  
ことに気づいた」と  
打ち明けた。

「県外や海外の人  
と対面した時に地元

のことを語れないの  
は恥ずかしい」とし  
て「ふるさとを語れ  
る人になってほし  
い。地域人教育は素  
晴らしいプログラ  
ム。いろんな人の話  
を聞いて学び、体験  
してほしい」と呼び  
掛けた。「住民の愛着  
度が高い地域が、外  
部から来訪したいと  
魅力を感じられる地  
域になる。地域人教  
育を通して、地域に  
対する愛着と誇りを  
持つてほしい」と訴  
えた。

生徒たちは10のグ  
ループに分かれ、市  
内5地区をエリアに  
活動する。全市的な  
課題を扱うグループ  
などもある。

# テックレンジャー やまびこマーチに出演

OIDE 長姫高

## テックレンジャー新体制で始動

### やまびこマーチでショー披露

飯田OIDE長姫高校コンピュータ制御部が扮する「高校戦隊テックレンジャー」が、ウオーキングイベント「第38回飯田やまびこマーチ」の2日目(4月28日)に登場し、新年度の活動をスタートさせた。4月に新入部員8人が入部。結成以来最大となる24

人に大したテックレンジャーチームが、見応え十分なショーで観客を魅了した。「歩育コース」と「ほっとすまいるコース」が行われたこの日、参加する親子をターゲットに開催。会場となったスタート地点の飯田中央公園には、多くの参加者や一般の観覧

者が詰めかけ、テックレンジャーの活躍に拍手や大きな声援を送っていた。ショー終了後には、写真撮影などにも気軽に応じた。活動開始は2010(平成22)年。子ども工作教室やCM制作、ショーを主な活動とし、子どもたちとの交流を大切に

しながら、各自の持つ専門性を生かす活動を展開している。昨年は県警と合同でサイバー犯罪防止を訴える活動に連続10年取り組んだ功績が評価され、県警本部から感謝状が贈られるなど、地域貢献活動への功績は県全体に認められるようになった。



やまびこマーチに登場したテックレンジャー

6日に飯田市丸山「アム」で50分間の町のかざこし子ども森公園で開催の「理科実験ミュージック」を披露する予定。時間は午後1時15分〜2時半。

# 電子機械工学科 3 年生 2 年間の学習成果を披露 マイコンカーグランプリ開催

2024 年(令和 6 年) 5 月 9 日 木曜日

南 信 州 新 聞



熱戦を繰り広げた第 6 回 MC-GP

の鋭角コ  
ナーを  
を盛り上  
えて大会  
ユーを交  
インタビ  
加選手の  
動画や参  
が運営。

ら、安定  
性を重視  
した大型  
のものま  
で工夫を  
凝らした  
さまざま  
なマシン  
が登場し  
た。大会  
は生徒自  
身が運営  
が運営。  
動画や参  
加選手の  
インタビ  
ユーを交  
えて大会  
を盛り上  
げ、難所  
の鋭角コ  
ナーを

飯田 OIDE 長姫  
高校電子機械工学科  
3 年生 37 人によるマ  
イコンカーグラン  
プリ(MC-GP)が  
8 日、同校であっ  
た。機械技術、電気  
電子技術、制御(情  
報)技術をバランス  
よく学ぶ、系統的な  
学習成果を発表する  
機会。1、2 年生や  
保護者ら約 140 人  
が観戦中、製作・  
調整を重ねたマシン  
でタイムを競った。  
コース上の白線を  
マシンに装着したセ  
ンサーで認識し、左  
右のタイヤの速度を  
変えて進行方向を制  
御しながら自動走行  
する完全自走式ロボ  
ットで競う大会。同  
科独自の活動として  
2019 年に始まり  
今年で 6 回目を迎え  
た。生徒は 1 年時から  
の授業で基礎製作や  
車体設計、プログラ  
ミングなどの学習を  
重ねてきた。車体は  
コンピュータ利用  
設計システム(CA  
D)で設計し、3D  
プリンターで出力。  
速度を重視し軽量化  
を目指したものでか  
ら、安定  
性を重視  
した大型  
のものま  
で工夫を  
凝らした  
さまざま  
なマシン  
が登場し  
た。大会  
は生徒自  
身が運営  
が運営。  
動画や参  
加選手の  
インタビ  
ユーを交  
えて大会  
を盛り上  
げ、難所  
の鋭角コ  
ナーを

## OIDE 長姫高 電子機械 工学科 3 年生 マイコンカー GP 2 年間の学習成果披露

## 県大会目指し熱戦

### バスケットなど南信高校総体

バスケットボールや剣道などの南信高校総体は10～12日、各地で行われ、県大会やインターハイに向けて熱戦を繰り広げた。

総合体育館で開かれる。

#### バスケットボール

バスケットボールは10～12日に行い、男女とも県大会(31～6月2日・岡谷市など)へ進む8校が決まった。

- ▽男子 ①東海大諏訪②岡谷南③伊那北④下諏訪向陽⑤OIDE長姫⑥飯田⑦諏訪清陵⑧諏訪二葉
- ▽女子 ①東海大諏訪②赤穂③風越④諏訪二葉⑤伊那北⑥OIDE長姫⑦伊那西⑧伊那弥生

#### バレーボール

バレーボールは10～12日、東海大諏訪高校体育館などで行った。

- ▽男子 ①岡谷工②諏訪清陵③東海大諏訪④岡谷東⑤阿智⑥駒ヶ根工⑦OIDE長姫⑧飯田

#### 卓球

卓球は11、12日、男女別の団体、ダブルス、シングルスを行った。県大会は30～6月1日に佐久市

#### 【女子】

- ▽シングル ①木下心愛(飯女)②久保田千尋(同)③豊口梨菜(O長)④前沢梢(飯女)⑤西川加菜(飯田)⑥山本天音(飯女)⑦伊藤梨(風越)

#### 柔道

柔道は11日、駒ヶ根市武道館で行った。

- ▽個人 66キ級 ①小沢巧実(駒ヶ根工)②所沢悠良(O長)③級 ④小林寛希(東海大諏訪)⑤秋元真之介(O長)

#### 登山

登山は10、11日、富士見町の編笠山・西岳で行った。

- ▽女子 ①OIDE長姫(小池美緒)

#### 弓道

弓道は11、12日、飯田運動公園弓道場で行った。県大会は6月1、2日に長野運動公園弓道場で開催される。

#### 【男子】

- ▽団体(40射) ①諏訪二葉A25中②下伊那農A③飯田A④風越A⑤OIDE長姫A
- ▽個人(8射) ①登内琉真(高遠)

#### 剣道

剣道は11、12日、飯田市県体育館で行った。県大会は31～6月2日に県立武道館で開催される。

#### 【男子】

- ▽団体 ①下伊那農②飯田
- ▽個人 ①松沢伸弥(下農)②佐々木鈴太(飯田)③平島諭(O長)

#### テニス

テニスは9～11日、伊那市センタ

- 8中③倉本玲央(O長)⑤半崎龍星(阿南)⑦寺沢樹(O長)⑨近藤志希(飯田)

#### 【女子】

- ▽個人(8射) ①浦野友衣(伊那弥生)②熊谷かなで(飯女)③田口唯花(O長)④瀧浪翼(飯女)⑤玉本利帆(同)⑥石橋由希菜(飯田)

テニスコートであった。

#### 【男子】

- ▽団体 ①伊那北②諏訪清陵③OIDE長姫、赤穂
- ▽ダブルス ①平沢孝輔・島崎晃太組(O長)

本校関係の競技区分のみに縮小して掲載しています。

#### 本紙掲載外の入賞成績

- バドミントン【男子】
  - ◇団体 3位 ◇個人ダブルス(伊藤友哉・金田陽翔)1位
  - ◇シングルス 伊藤友哉 1位
- 陸上【男子】
  - ◇400m障害 遠藤誠志郎 3位 ◇走り幅跳び 新井大誠 2位
  - ◇砲丸投げ 市岡朋樹 1位 ◇円盤投げ 市岡朋樹 3位
- 空手道【男子】 ◇団体相手 3位

## 県大会での活躍を応援しています！



# 電気電子工学科

## 第14回ライトレースロボット大会

2024年(令和6年) 5月23日 木曜日

南 信 州 新 聞



電気電子工学科のライトレースロボット大会

OIDE長姫高

# マイコン制御の学習成果披露

## 電気電子工学科 第14回ロボット大会

飯田OIDE長姫高校(宮澤直哉校長)の電気電子工学科3年生40人は22日、ロボット製作・制御の学習の集大成としてライトレースロボット大会を開

いた。2年生や保護者が見守る中、調整を重ねたロボットを走行させて技術を競った。ライトレースロボットは自律移動型ロボットで、PWM

制御という技術でコースの白線を3つのセンサーで読み取り、反応に応じて左右のモーター(タイヤ)の動かし方を制御する。ジグザグや

右のモーター(タイヤ)の動かし方を制御する。ジグザグや

コースを走る。2年の時に見学した際の課題や改善点を検討し、運営に生かした。予選では各生徒が2回ずつコースを走行し、合計タイムの上位8人が決勝に進出。決勝はトーナメント方式で順位を競った。大会実行委員長の北原立聖さん(17)は「この大会を目標に1年次から実習でさまざまなことを学び、ものづくりの難しさや面白さを感じながらロボット製作に取り組んできた」と振り返り、観覧者

に向けて「同じ材料から選手の腕によって作り出された40台のロボットに個性と魂を感じてくれたらうれしい」と話していた。

### 伝統の大会、クラス全員で作りに上げて来ました！